

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成 27 年度採択課題）

FS 評価結果

番号	研究名	研究代表者	評 価
27-2	多様な観測データの活用による道路交通施策評価のためのモデル開発	山梨大学 教授 佐々木 邦明	A
<p><研究の概要></p> <p>研究の目的はフレキシブルな構造を持つことが可能なマイクロベースのシミュレーションモデルによる交通状態の予測と、それに対応する状態を直接的・間接的に観測した多様なデータを同化させることで、精度の高い状態予測や、突発事象の検出などを行う。またその結果を活用して道路の管理者、利用者、政策担当者に精度の高い情報提供を行うことである。具体的にはアクティビティシミュレーションや交通ネットワークシミュレーションを用いて、シミュレーションの出力に人数や速度等の様々な観測データを同化して、予測能力や精度を高めたシステムを構築するものである。</p> <p><FS 評価結果></p> <p>FS 条件であった研究で用いるデータの特定制及び道路行政の貢献について提示されており、研究計画も妥当であることから、新規研究として採択する。なお、本格実施に当たっては、地域と連携した施策・計画を前提としつつ、具体的な成果目標を設定した上で、有用性を分かりやすく示していただきたい。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究タイトルが「道路情報提供」となっているが、むしろ「道路、交通施策評価のためのモデル開発」とした方が適切ではないか。 2. 本研究において、評価する政策と構築するモデルとの関係をより明確にしていきたい。 3. データ同化手法は、環状道路時代の道路ネットワーク運用に必要な情報提供等の道路運用対策の検討の交通シミュレーションモデルに必要な研究分野である。道路管理者が簡便に使えるデータ同化手法の検討を行っていただきたい。 			

※本 FS 評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第 28 回新道路技術会議において審議したものである。